

[標準様式例 7-3]

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	R 1 関東地方整備局河川維持管理検討業務
業 務 概 要	本業務は、河川の維持管理について、更なる効率化や適正な遂行が求められていることから、関東における各河川の河川巡視、堤防点検及び堤防除草などの維持管理業務の実態を踏まえ、新技術を活用するなどの、効率的・効果的な河川の維持管理を実施するための手法について検討するものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部の名称及び所在地	支出負担行為担当官 関東地方整備局長 石原 康弘 埼玉県さいたま市中央区新都心2番地1
契 約 年 月 日	令和元年8月27日
契 約 業 者 名	R 1 関東地方整備局河川維持管理検討業務河川財団・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋小伝馬町11-9
契 約 金 額	¥25,597,000円 (税込み)
予 定 価 格	¥25,960,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	本業務を遂行するためには、高度な技術や経験を必要とすることから、技術力、経験、業務の的確性、実現性などを含めた技術提案を求め、簡易公募型プロポーザル方式に準じた方式により選定を行った。 R 1 関東地方整備局河川維持管理検討業務課全財団・オリエンタルコンサルタンツ設計共同体は、技術提案において総合的に最も優れた提案を行った業者であり、上記業者と契約を行うものである。
業 務 場 所	国土交通省 関東地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和元年8月28日
履 行 期 間 (至)	令和2年3月23日
備 考	会計法29条の3第4項 予決令第102条の4第3号

備考

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。